

総合司会 石原剛（東京大学教授）
開会の辞 東大比較文學會会長 今橋映子（東京大学教授）

第一部 13:40～ 研究発表

伊東忠太とサーサーン朝ペルシアの芸術
—「法隆寺建築論」から『文様集成』まで

発表者：モハッラミプール・ザヘラ

（東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程）

ディスカッサント：王秋琳

（東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程）

円地文子作品における語り手「巫女」の誕生
—古典受容と近代オカルティズムの狭間で

発表者：石川真奈実

（東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程）

ディスカッサント：李範根

（東京大学大学院総合文化研究科比較文学比較文化コース博士課程）



第二部 16:20～ 博士たちの報告会
—博論を書いた人から書く人へ

アーカイヴと喫茶店

発表者：二村淳子（白百合女子大学准教授）

音楽家の立場から—「生みの苦しみ」を経て

発表者：梶野絵奈（東京大学非常勤講師）

閉会の辞 東大比較文學會事務局長 佐藤光（東京大学教授）

お問い合わせ先 東大比較文學會事務局
Mail: today-hikaku@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp
Tel: 03-5454-6330

—建築史家の視点・文学者の視点

歴史を語るのは誰か

東大比較文學會第十六回若手奨励研究コロキウム

2022年
12月16日(金)
13:30～17:30

ハイブリッド形式
東京大学駒場キャンパス18
号館4F コラボレーション
ルーム1、Zoom

写真: ナグシェ・ロスタム
(イラン)
Diego Delso, delso.photo,
License CC-BY-SA